

令和3年度 1年「農業と環境」シラバス

単位数:3

学 年:1学年 (生活デザイン科)

1 学習の目標

- (1)農業生物の育成についての体験的、探求的な学習を通して農業に関する基礎的な知識と技術を身につけます。
- (2)農業に関する興味・関心を高め、科学的思考力・問題解決力を伸ばし、農業の各分野の発展を図る能力と態度を身につけます。

2. 学習の進め方

- (1)草花栽培を中心に基礎的・基本的な事を学習します。
- (2)時には実習(実習服着用)を行います。(清潔し、忘れず準備して下さい)
- (3)記録は毎時間行います。授業説明→ 実習→ まとめ → 記録の確認の流れで授業を進めます。(筆記用具や簡単な記録帳を毎回準備して下さい。)

3. 学習をする上での留意点

- (1)土に触れ、草花の栽培管理を通して、農業の楽しさや大変さを実感して下さい。
- (2)実習は5~6名でグループ学習します。自主性、協調性、責任感を身につけましょう。
- (3)草花の栽培管理や調査・観察記録する習慣を身につけましょう。
- (4)草花の育成を科学的に理解する力をつけましょう。

4. 課題・補習について

花材の栽培管理や作品についてレポートを提出します。

5. 評価の観点・方法

評価の観点	評価の内容	評価方法
関心・意欲・態度	①草花の栽培やフラワーデザインに興味・関心が高いか。 ②実験・実習に自主的に参加し意欲的に取り組んでいるか。	服装、学習用具の準備、 授業への取り組みや態度 実習記録簿
思考・判断	①草花の育成における調査観察記録や実験の結果を記録・整理し、その結果を多面的に考察しているか。 ②見出した課題を科学的にとらえて合理的に解決する実践的な能力を身につけているか。	レポート 実習記録簿 発表の内容や方法
技能・表現	①草花の育成やその利用について基礎的な技術を身につけているか。 ②生命現象に応じた的確な技能を実践することができるか。	農業生物の扱い方 農機具の取り扱い方 農業鑑定の成績 実技テスト
知識・理解	①草花の育成や利用など基礎的な知識を身につけているか。 ②草花の育成と栽培環境の関係について理解しているか。	定期テスト

6 教科書、参考書

農業と環境(実教)、農業と環境(農文教)

7 学習計画

学期	月	時数	単元名	学習内容	学習のねらい
1	4	4	農業の学び方を教える	①農業の多面性と科学性 ②プロジェクト学習とは ③学校農業クラブ活動の意義と役割	・農業の役割や農業学習の方法について理解します。 ・学校農業クラブ活動の意義と役割について理解します。
	5			6	32
2	9	30	栽培学習とデザイン(1)	・草花と栽培について ・草花で装飾作成	・秋に向けた草花の選別や栽培方法を理解します。 ・農業祭に向け、草花での展示(装飾)方法を学習します。
	10			・菊の最終摘芯と鉢替えについて	・開花調節と最終摘芯で農業祭に開花可能であることを理解します。
	11			15	栽培学習とデザイン(2)
3	12	24	栽培学習とデザイン(3)	作物のからだについて ・栄養成長と生殖成長	・メイン会場の花文字作成。 ・次年度に向けた草花の播種を行います。
	1			2	3

* 実習内容に応じて、校外学習を行う。

令和3年度『デザインと栽培Ⅰ』シラバス

科目名	学科	学年	必修・選択	単位数
デザインと栽培Ⅰ	生活デザイン科	2年	必修	4単位

1 学習の目標

園芸植物の栽培と園芸植物の持つ魅力を活用できる知識・技術（フラワー装飾3級程度）を習得し、生活に潤いと安らぎのあるあるインテリア空間を創造する態度を育成することを目的とする。

2 内容

- (1) 草花の基礎知識(特徴・栽培管理)について学習する。
- (2) 草花の活用方法を学習する。
- (3) フラワー装飾検定試験の内容に取り組む。

3 授業の進め方

- (1) 草花に関する基礎知識を授業で学び習得する。
- (2) 実習をとおして、フラワーデザインの基礎技術を習得する。
- (3) 各実習を実施して、記録ノートにまとめる。

4 学習する上での留意点

デザインと栽培の技術を身につけるため、フラワーデザインの基礎を学ぶ。生徒に実習を多く経験させ、その技術力を高める。草花の栽培技術を身につける。

5 課題・補習について

記録ノートを毎回提出する。

6 評価の観点・方法について

評価の観点	評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	・草花の栽培やフラワーデザインについて関心を持ち、知識・技術を身につけようとする意欲を持ち、真面目に取り組む態度を身につけたか。	授業での問題提起に対する発言、作品制作における姿勢。
思考・判断	・草花の生理・生態的特性を考察し、それに適した栽培技術や環境を判断する能力を身につけたか。 ・草花の活用方法を考察する能力を身につけたか。	実習の流れを判断し、行動しているか。
技能・表現	・草花の栽培に必要な基本的な技能と知識を身につけたか。 ・草花の活用技術(フラワー装飾3級程度)を身につけたか。	花材の取り扱い方。作品の仕上がり。
知識・理解	・草花の特性や栽培・活用方法などの知識を身につけ、草花の役割や栽培技術、品質保持技術などとの関わりを理解したか。	定期テストや授業での小テスト。

7 成績評価

1・2 学期	中間	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">定期考査</th> <th colspan="4">平常点</th> </tr> <tr> <td>(素点)</td> <td>提出物</td> <td>授業態度</td> <td>出席率</td> <td>作品制作</td> </tr> <tr> <td>40 %</td> <td>10%</td> <td>20%</td> <td>10%</td> <td>20%</td> </tr> </table>	定期考査	平常点				(素点)	提出物	授業態度	出席率	作品制作	40 %	10%	20%	10%	20%
	定期考査	平常点															
(素点)	提出物	授業態度	出席率	作品制作													
40 %	10%	20%	10%	20%													
	期末	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">定期考査</th> <th colspan="4">平常点</th> </tr> <tr> <td>(素点)</td> <td>提出物</td> <td>授業態度</td> <td>出席率</td> <td>作品制作</td> </tr> <tr> <td>40 %</td> <td>10%</td> <td>20%</td> <td>10%</td> <td>20%</td> </tr> </table>	定期考査	平常点				(素点)	提出物	授業態度	出席率	作品制作	40 %	10%	20%	10%	20%
定期考査	平常点																
(素点)	提出物	授業態度	出席率	作品制作													
40 %	10%	20%	10%	20%													
3 学期	学年末	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">定期考査</th> <th colspan="4">平常点</th> </tr> <tr> <td>(素点)</td> <td>提出物</td> <td>授業態度</td> <td>出席率</td> <td>作品制作</td> </tr> <tr> <td>40 %</td> <td>10%</td> <td>20%</td> <td>10%</td> <td>20%</td> </tr> </table>	定期考査	平常点				(素点)	提出物	授業態度	出席率	作品制作	40 %	10%	20%	10%	20%
定期考査	平常点																
(素点)	提出物	授業態度	出席率	作品制作													
40 %	10%	20%	10%	20%													

8 学習計画

学期	月	学習内容	学習目標
1	4	講義 ・フラワーデザインとは ・1学期のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・草花について、装飾的特性や心理的效果などを理解する。 ・草花・観葉植物の栽培管理を学習する。 ・効果的な作品演出について学習する。 ・フラワーデザインの基礎（コサージュ・アレンジメントなど）を学習し、技術を身につける。
	5		
	6	実習 ・観葉の繁殖・育苗。 ・作品の土台作り	
	7	・フラワーアレンジメントの基礎	
2	9	講義 ・切花・鉢物生産の特徴 ・1・2年草/宿根層/球根/花木/鉢花/観葉植物/洋ラン	<ul style="list-style-type: none"> ・切り花生産の栽培・商品特性を理解する。 ・鉢花生産の栽培・商品特性・鉢物の商品化技術や品質保持技術を理解する。 ・基本的な園芸草花の種類・特徴を理解する。 ・草花・観葉植物の栽培管理を学習する。 ・フラワーデザインの基礎（コサージュ・アレンジメントなど）を学習し、技術を身につける。
	10	・フラワーデザインにおける色彩学 ・2学期のまとめ	
	11	実習 ・草花の鉢あげ・商品化、ミニ観葉の商品化（寄せ植えなど）、切花栽培	
	12	・フラワーアレンジメントの基礎	
3	1	講義 ・花壇用草花生産 ・1年間のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・園芸の栽培・生産以外の利用価値について理解する。 ・行事に向けての栽培管理、装飾を学習する。 ・フラワーデザインの基礎（コサージュ・アレンジメントなど）を学習し、技術を身につける。
	2	実習	
	3	・切花栽培、卒業式に向けての草花管理 ・フラワーアレンジメントの基礎	

*学習内容に応じて、校外学習を行う。

令和3年度 シラバス

科目	総合実習	単位数	3	学科	生活デザイン科	学年	2年
----	------	-----	---	----	---------	----	----

1 学習の目標

園芸植物の栽培に関する基礎・基本的な知識を習得し特に草花・観葉植物の利用法ならびに繁殖法を理解させ、実際に繁殖し技術の取得をする。

2 授業の進め方

- (1) 自分で草花栽培ができるよう、授業を進めます。
- (2) 植物のことを数多く勉強してもらいます。
- (3) 毎時間記録を取りますので、筆記用具を準備して下さい。

3 学習する上での留意点

- (1) 欠席や結課が多いと栽培に関する基礎知識が身につかなくなります。授業を極力休まないように心掛けてください。
- (2) 毎時間のように草花栽培等の実習を行います。実習着の準備もしててください。
- (3) 草花の栽培管理や調査・観察記録する習慣を身につけましょう。
- (4) 草花の育成を科学的に理解する力をつけましょう。

4 評価の観点・方法について

評価の観点	内 容	評価方法
関心・意欲 態度	①草花の栽培に興味・関心が高いか。 ②実験・実習に自主的に参加し意欲的に取り組んでいるか。	服装、学習用具の準備、 授業への取り組みや態度 実習記録簿
思考・判断	①草花の育成における調査観察記録や実験の結果を記録・整理し、その結果を多面的に考察しているか。 ②見出した課題を科学的にとらえて合理的に解決する実践的な能力を身につけているか。	レポート 実習記録簿 発表の内容や方法
技術・表現	①草花の育成やその利用について基礎的な技術を身につけているか。 ②学習した内容を作品づくり等に活かすことができているか。	農業生物の扱い方 農機具の取り扱い方 個人作品の成績 実技テスト
知識・理解	①草花の種類やその分類等を理解しているか。 ②草花の育成と栽培環境の関係について理解しているか。	定期テスト

5 教科書、参考書

「草花」 実教出版

6 学習計画

学期	月	指導内容	配当時間	備考
1	4	(1) 観葉植物・草花の栽培について ・取り扱う植物の種類 ・草花の生態	39	
	5			
	6	(2) 草花の繁殖について ・草花の分類 ・草花の繁殖		
	7			
2	9	(3) 生活と草花の利用 ・生活の中に草花を取り入れる意義 ・園芸デザインについて	42	
	10			
	11	(4) 草花の特性と栽培技術 ・室内での植物管理 ・生育と環境要因		
	12			
3	1	(5) 植栽と管理 ・植物の飾り方 ・ディスプレイについて ・植物の管理	24	
	2			
	3			

令和3年度『課題研究（フラワデザインコース）』シラバス

科目名	学科	学年	必修・選択	単位数
課題研究（フラワデザインコース）	生活デザイン科	2年	必修	3単位

1 学習の目標

これまで学習してきた内容を踏まえ、興味関心のある内容の探究活動に自主的・主体的に取り組む姿勢を育む。次年度の課題研究も視野に入れ、長期計画・短期計画に沿って的確に実習を行う。

2 内容

(1) デザインと栽培の基礎知識と基礎的技術の復習。

(2) 課題の設定、課題解決のために取り組む。

3 授業の進め方

(1) 各自で学習計画を立て、計画に基づいて学習を展開する。

(2) 調査・観察記録、実習記録は丁寧にまとめる。画像での記録も忘れないように行う。

(3) 実習に必要な材料は、各自で計画し、事前に先生方にお申し送り準備してもらうこと。

4 学習する上での留意点

生徒が主体であることを忘れずに学習に参加すること。自主性、責任感、協調性を身につけるようにする。(課題研究では生徒が主体であり、先生方はアドバイザー的関わりを保つ)

5 課題・補習について

夏季休暇終了時に中間レポート提出と2学期の中間報告会を得て、3学期に最終報告会を行う。また、記録簿の提出を毎時間行う。

6 評価の観点・方法について

評価の観点	評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	・実習内容を理解し、主体的、計画的に取り組む意欲的に進めているか。	服装、学習用具の準備 授業への取り組みや態度 実習記録簿
思考・判断	・実験・実習の記録が整理され、結果に対する考察が十分であるか。	レポート 実習記録簿
技能・表現	・基礎・基本的な技術を身につけているか。 ・応用、発展的な内容であるか。 ・個性的な内容であるか。	材料の取り扱い方 内容に対する取り組み や態度
知識・理解	・基礎・基本的な内容を理解しているか。	レポート提出

7 成績評価

1・2 学期	中間	<table border="1"> <thead> <tr> <th>中間報告</th> <th colspan="4">平常点</th> </tr> <tr> <th>(レポート)</th> <th>提出物</th> <th>授業態度</th> <th>出席率</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30 %</td> <td>20%</td> <td>40%</td> <td>10%</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	中間報告	平常点				(レポート)	提出物	授業態度	出席率		30 %	20%	40%	10%	%
	中間報告	平常点															
(レポート)	提出物	授業態度	出席率														
30 %	20%	40%	10%	%													
期末	<table border="1"> <thead> <tr> <th>中間報告</th> <th colspan="4">平常点</th> </tr> <tr> <th>(報告会)</th> <th>提出物</th> <th>授業態度</th> <th>出席率</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30 %</td> <td>20%</td> <td>40%</td> <td>10%</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	中間報告	平常点				(報告会)	提出物	授業態度	出席率		30 %	20%	40%	10%	%	
中間報告	平常点																
(報告会)	提出物	授業態度	出席率														
30 %	20%	40%	10%	%													
3 学期	学年末	<table border="1"> <thead> <tr> <th>最終報告</th> <th colspan="4">平常点</th> </tr> <tr> <th>(報告会)</th> <th>提出物</th> <th>授業態度</th> <th>出席率</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40 %</td> <td>20%</td> <td>30%</td> <td>10%</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	最終報告	平常点				(報告会)	提出物	授業態度	出席率		40 %	20%	30%	10%	%
最終報告	平常点																
(報告会)	提出物	授業態度	出席率														
40 %	20%	30%	10%	%													

8 学習計画

学期	月	単 元 名	学習内容	学習目標
1	4	テーマの決定と年間計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> ・学習テーマの決定 ・年間計画の作成 ・計画に沿って検証を行う ・中間報告 ・フラワー装飾技能検定の対策を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らテーマを決め年間計画を立てることができる計画に従って取り組むことができる。 ・生徒の計画に沿って、校外実習を行う。
	5			
	6			
	7			
2	9	中間報告発表	<ul style="list-style-type: none"> ・中間報告の提出 ・計画に沿って検証を行う ・中間発表を行う ・最終まとめと発表の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施状況の確認と今後の取り組みについての再確認や計画の変更ができる。 ・生徒の計画に沿って、校外実習を行う。
	10			
	11			
	12			
3	1	レポート作成発表	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートのまとめ ・発表を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめと反省ができ、次年度の課題を確認することができる。
	2			
	3			

*学習内容に応じて、校外学習を行う。

令和3年度 シラバス

科目	生物活用	単位数	3	学科	生活デザイン科	学年	3年
----	------	-----	---	----	---------	----	----

1 学習の目標

身近な暮らしの場における生物の活用による生活の質の向上と、健康の改善を図る。

園芸植物の栽培に関する基礎・基本的な知識を習得し特に草花・観葉植物の利用法ならびに繁殖法を理解する。

2 授業の進め方

- (1) 自分で草花栽培ができるよう、授業を進めます。
- (2) 植物のことを数多く勉強してもらいます。
- (3) 毎時間記録を取りますので、筆記用具を準備して下さい。

3 学習する上での留意点

- (1) 欠席や結課が多いと栽培に関する基礎知識が身につかなくなります。授業を極力休まないように心掛けてください。
- (2) 毎時間のように草花栽培等の実習を行います。実習着の準備もしててください。
- (3) 草花の栽培管理や調査・観察記録する習慣を身につけましょう。
- (4) 草花の育成を科学的に理解する力をつけましょう。

4 評価の観点・方法について

評価の観点	内 容	評価方法
関心・意欲 態度	①草花の栽培に興味・関心が高いか。 ②実験・実習に自主的に参加し意欲的に取り組んでいるか。	服装、学習用具の準備、 授業への取り組みや態度 実習記録簿
思考・判断	①草花の育成における調査観察記録や実験の結果を記録・整理し、その結果を多面的に考察しているか。 ②見出した課題を科学的にとらえて合理的に解決する実践的な能力を身につけているか。	レポート 実習記録簿 発表の内容や方法
技術・表現	①草花の育成やその利用について基礎的な技術を身につけているか。 ②学習した内容を作品づくり等に活かすことができているか。	農業生物の扱い方 農機具の取り扱い方 個人作品の成績 実技テスト
知識・理解	①草花の種類やその分類等を理解しているか。 ②草花の育成と栽培環境の関係について理解しているか。	定期テスト

5 教科書、参考書

生物活用 (実教出版)

6 学習計画

学期	月	指導内容	配当時間	備考
1	4	(1) 園芸の活用と効果 ・身のまわりの園芸に気づく ・暮らしと園芸について	39	
	5			
	6	(2) 草花の栽培と活用 ・草花の活用について ・草花の繁殖		
	7			
2	9	(3) 園芸療法 ・園芸療法について理解する ・園芸療法とその特徴	42	
	10			
	11			
	12	(4) 動物の活用 ・イヌの飼育と活用 ・ネコとその他の小動物		
3	1	(5) ガーデンデザイン ・植物の飾り方 ・ディスプレイについて	24	
	2			
	3			

*実習内容に応じて、校外学習を行う。

令和3年度 シラバス

科目	デザインと栽培Ⅱ	単位数	4	学科	生活デザイン科	学年	3年
----	----------	-----	---	----	---------	----	----

1 学習の目標

園芸植物の栽培と園芸植物の持つ魅力を活用できる知識・技術を習得させ、生活に潤いと安らぎのあるあるインテリア空間を創造する態度を育てる。

2 授業の進め方

- (1) フラワー装飾2級・色彩検定3級の取得をめざして取り組みます。
- (2) 検定試験後は、草花栽培の実習をしつつデザインの学習も行います。
- (3) 毎時間記録を取りますので、筆記用具を準備して下さい。

3 学習する上での留意点

- (1) 日頃の授業の中で、受験対策を行います。欠席や結課が多いと受験の準備が間に合わなくなります。授業を極力休まないように心掛けてください。
- (2) 毎時間実習着の準備もしててください。
- (3) 草花の栽培管理や調査・観察記録する習慣を身につけましょう。
- (4) 草花の育成を科学的に理解する力をつけましょう。

4 評価の観点・方法について

評価の観点	内 容	評価方法
関心・意欲 態度	①草花の栽培や色彩、デザインに興味・関心が高いか。 ②実験・実習に自主的に参加し意欲的に取り組んでいるか。	服装、学習用具の準備、 授業への取り組みや態度 実習記録簿
思考・判断	①草花の育成における調査観察記録や実験の結果を記録・整理し、その結果を多面的に考察しているか。 ②見出した課題を科学的にとらえて合理的に解決する実践的な能力を身につけているか。	レポート 実習記録簿 発表の内容や方法
技術・表現	①草花の育成やその利用について基礎的な技術を身につけているか。 ②学習した内容を作品づくり等に活かすことができているか。	農業生物の扱い方 農機具の取り扱い方 個人作品の成績 実技テスト
知識・理解	①フラワーデザインや色彩に関する用語や、その応用の仕方を習得したか。 ②草花の育成と栽培環境の関係について理解しているか。	定期テスト

5 教科書、参考書

色彩検定 (公式テキスト 文部科学省後援)

6 学習計画

学期	月	指導内容	配当時間	備考
1	4	(1) フラワーデザインについて ・花束、アレンジメント、ブーケ	30	
	5			
	6	(2) 色彩の応用について ・色彩の持つはたらきを生活に取り入れる 色彩と生活 ・色彩をビジネスに活かす ファッション、インテリア	16	
	7	(3) 生活と草花の利用 ・多肉植物の栽培など	10	
2	9	(4) 生活と草花の利用 ・色彩感覚を応用したデザイン ・植物をデザインする ・草花を生活に取り入れる手法	32	
	10			
	11	(5) フラワーデザイン ・個人作品制作	32	
	12			
3	1	(6) 一年間の学習のまとめ	20	
	2			
	3			

*実習内容に応じて、校外学習を行う。

令和3年度 シラバス

科目	総合実習	単位数	3	学科	生活デザイン科	学年	3年
----	------	-----	---	----	---------	----	----

1 学習の目標

園芸植物の栽培に関する基礎・基本的な知識を習得し特に草花・観葉植物の利用法ならびに繁殖法を理解させ、インドアガーデン的な発想で展示及び作品作りができる。

2 授業の進め方

- (1) 自分で草花栽培ができるよう、授業を進めます。
- (2) 植物のことを数多く勉強してもらいます。
- (3) 毎時間記録を取りますので、筆記用具を準備して下さい。

3 学習する上での留意点

- (1) 欠席や結課が多いと栽培に関する基礎知識が身につかなくなります。授業を極力休まないように心掛けてください。
- (2) 毎時間のように草花栽培等の実習を行います。実習着の準備もしててください。
- (3) 草花の栽培管理や調査・観察記録する習慣を身につけましょう。
- (4) 草花の育成を科学的に理解する力をつけましょう。

4 評価の観点・方法について

評価の観点	内 容	評価方法
関心・意欲 態度	①草花の栽培に興味・関心が高いか。 ②実験・実習に自主的に参加し意欲的に取り組んでいるか。	服装、学習用具の準備、 授業への取り組みや態度 実習記録簿
思考・判断	①草花の育成における調査観察記録や実験の結果を記録・整理し、その結果を多面的に考察しているか。 ②見出した課題を科学的にとらえて合理的に解決する実践的な能力を身につけているか。	レポート 実習記録簿 発表の内容や方法
技術・表現	①草花の育成やその利用について基礎的な技術を身につけているか。 ②学習した内容を作品づくり等に活かすことができているか。	農業生物の扱い方 農機具の取り扱い方 個人作品の成績 実技テスト
知識・理解	①草花の種類やその分類等を理解しているか。 ②草花の育成と栽培環境の関係について理解しているか。	定期テスト

5 教科書、参考書

「草花」 実教出版

6 学習計画

学期	月	指導内容	配当時間	備考
1	4	(1) 花木の栽培 ・取り扱う植物の種類 ・花木の鉢替え及び繁殖法	39	
	5			
	6	(2) 生活と草花の利用 ・草花の意義と利用 ・栄養繁殖の実際 ・観葉植物の管理		
	7			
2	9	(3) 生活と草花の利用 ・生活の中に草花を取り入れる意義 ・園芸デザインの基本 ・園芸デザインの実際 ・多肉植物の栽培	42	
	10			
	11	(4) 草花の生育と環境要因 ・室内での植物管理 ・生育と環境要因		
	12			
3	1	(5) ガーデニングについて ・植物の飾り方 ・ディスプレイについて ・植物の栽培管理	24	
	2			
	3			

令和3年度

『課題研究（フラワーデザインコース）』 シラバス

科目名	学科	学年	必修・選択	単位数
課題研究（フラワーデザインコース）	生活デザイン科	3年	必修	3単位

1 学習の目標

デザインと栽培や生物活用に関する課題を設定し、課題に向けて取り組む中で、思考力、応用力、実践的な能力と態度を身につける。

2 内容

- (1) デザインと栽培の基礎知識と基礎的技術の復習。
- (2) 課題の設定、課題解決のために取り組む。

3 授の進め方

- (1) 各自で学習計画を立て、計画に基づいて学習を展開する。
- (2) 調査・観察記録、実習記録は丁寧にまとめる。
- (3) 実習に必要な材料は、各自で計画し、事前に先生方にお申し送り準備してもらうこと。

4 学習する上での留意点

生徒が主体であることを忘れずに学習に参加すること。自主性、責任感、協調性を身に付けるようにする。（課題研究では生徒が主体であり、先生方はアドバイザー的関わりを保つ）

5 課題・補習について

夏季休暇終了時に中間レポート提出と2学期の中間報告会を得て、3学期に最終報告会を行う。また、記録簿の提出を毎時間行う。

6 評価の観点・方法について

評価の観点	評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	・実習内容を理解し、主体的、計画的に取り組む意欲的に進めているか。	服装、学習用具の準備 授業への取り組みや 態度実習記録簿
思考・判断	・実験・実習の記録が整理され、結果に対する考察が十分であるか。	レポート実習記録簿
技能・表現	・基礎・基本的な技術を身につけているか。 ・応用、発展的な内容であるか。 ・個性的な内容であるか。	材料の取り扱い方 作品製作に対する取 り組みや態度
知識・理解	・基礎・基本的な内容を理解し、作品に応用されているか。	作品の仕上がり

7 成績評価

1・2 学期	中 間	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">中間報告</th> <th colspan="4">平常点</th> </tr> <tr> <td>(レポート)</td> <td>提出物</td> <td>授業態度</td> <td>出席率</td> <td></td> </tr> <tr> <td>30 %</td> <td>20%</td> <td>40%</td> <td>10%</td> <td>%</td> </tr> </table>	中間報告	平常点				(レポート)	提出物	授業態度	出席率		30 %	20%	40%	10%	%
	中間報告	平常点															
(レポート)	提出物	授業態度	出席率														
30 %	20%	40%	10%	%													
	期 末	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">中間報告</th> <th colspan="4">平常点</th> </tr> <tr> <td>(報告会)</td> <td>提出物</td> <td>授業態度</td> <td>出席率</td> <td></td> </tr> <tr> <td>30 %</td> <td>20%</td> <td>40%</td> <td>10%</td> <td>%</td> </tr> </table>	中間報告	平常点				(報告会)	提出物	授業態度	出席率		30 %	20%	40%	10%	%
中間報告	平常点																
(報告会)	提出物	授業態度	出席率														
30 %	20%	40%	10%	%													
3 学期	学年末	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">最終報告</th> <th colspan="4">平常点</th> </tr> <tr> <td>(報告会)</td> <td>提出物</td> <td>授業態度</td> <td>出席率</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40 %</td> <td>20%</td> <td>30%</td> <td>10%</td> <td>%</td> </tr> </table>	最終報告	平常点				(報告会)	提出物	授業態度	出席率		40 %	20%	30%	10%	%
最終報告	平常点																
(報告会)	提出物	授業態度	出席率														
40 %	20%	30%	10%	%													

8 学習計画

学期	月	単元名	学習内容	学習目標
1	4	テーマの決定と年間計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習テーマの決定 ・ 年間計画の作成 ・ 計画に沿って検証を行う ・ 中間報告 ・ フラワー装飾技能検定の対策を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自らテーマを決め年間計画を立てることができる計画に従って取り組むことができる。 ・ 生徒の計画に沿って、校外実習を行う。
	5			
	6			
	7			
2	9	中間報告発表	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中間報告の提出 ・ 計画に沿って検証を行う ・ 中間発表を行う ・ 最終まとめと発表の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施状況の確認と今後の取り組みについての再確認や計画の変更ができる。 ・ 生徒の計画に沿って、校外実習を行う。
	10			
	11			
	12			
3	1	レポート作成発表	<ul style="list-style-type: none"> ・ レポートのまとめ ・ 発表を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ まとめと反省ができ、課題を確認することができる。
	2			
	3			

* 学習内容に応じて、校外学習を行う。